



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 資生堂

コード番号 4911 URL <http://group.shiseido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 執行役員社長 (氏名) 前田 新造

問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 高倉 宏文

TEL 03-3572-5111

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 平成25年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (決算補足説明資料は平成25年10月31日(木)に当社ホームページに掲載)

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	360,504	8.1	20,391	144.4	21,021	151.7	5,377	7.1
25年3月期第2四半期	333,631	△0.8	8,342	△61.2	8,350	△61.7	5,020	△44.8

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 43,579百万円 (373.5%) 25年3月期第2四半期 9,202百万円 (△30.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	13.51	13.49
25年3月期第2四半期	12.62	12.60

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	755,459		336,695			42.0
25年3月期	715,593		303,153			40.1

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 317,359百万円 25年3月期 287,069百万円

国際会計基準第19号「従業員給付」(平成23年6月16日改訂)を一部連結子会社において適用し、確定給付負債の純額の変動の認識方法の変更等を行っており、平成25年3月期の連結財務諸表を遡及処理しております。詳細については、【添付資料】5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	740,000	9.2	40,000	53.6	41,000	44.3	15,000	—	37.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	400,000,000 株	25年3月期	400,000,000 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	1,729,869 株	25年3月期	1,960,234 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	398,152,020 株	25年3月期2Q	397,997,714 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料の記載内容のうち、歴史的事実でないものは、資生堂の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。こららの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、事実の成果や業績などは、記載の見通しとは異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
(参考情報)海外売上高	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(四半期連結損益計算書関係)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績の概況

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）の国内における景況感は、政府の経済政策による円高修正、株価回復、雇用情勢の改善などを背景として緩やかに回復し、化粧品市場においても持ち直しの兆しが見られました。海外では（海外連結子会社は平成25年1月1日～平成25年6月30日）、米州およびアジア地域で緩やかな経済成長を継続したものの、欧州では弱い動きとなり、化粧品市場においても同様に、米州およびアジア地域で成長が継続した一方で、欧州では縮小傾向となりました。

このような市場環境において、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比8.1%増の3,605億円となりました。国内売上高は、店頭売上が前年を上回る水準に回復したものの、店頭在庫の縮減を意図した出荷抑制を行ったことなどから、前年同期比2.5%減の1,819億円となりました。海外売上高は、現地通貨ベースで前年同期比0.5%増、円換算後では為替レートが円安傾向で推移したことにより、前年同期比21.5%増の1,786億円となりました。また、後述する「報告セグメント別の状況 ①国内化粧品事業」に記載の売上下位商品の店頭在庫回収に伴う営業費用を引当計上したものの、収益性の向上をめざし販売管理費の効率化を推し進めたことおよび一部費用が下期に繰り下がったことなどから、営業利益は前年同期比144.4%増の204億円となり、経常利益も前年同期比151.7%増の210億円となりました。また、四半期純利益は、営業利益が前年同期実績を大きく上回ったものの、同じく後述する生産終了品の店頭在庫の回収に伴う特別損失を引当計上したことなどから、前年同期比7.1%増の54億円となりました。

なお、当期の中間配当につきましては、当初の予定通り1株当たり10円といたします。

【連結】

(百万円)

区 分	当第2四半期 (累計)	構成比	前第2四半期 (累計)	構成比	増 減	増減率	外貨増減率	
売 上 高	国内化粧品事業	168,897	46.8%	173,367	52.0%	△4,469	△2.6%	△2.6%
	グローバル事業	186,941	51.9%	155,715	46.7%	31,226	20.1%	0.0%
	その他	4,665	1.3%	4,549	1.3%	115	2.5%	2.5%
	合 計	360,504	100.0%	333,631	100.0%	26,872	8.1%	△1.3%

国内売上高	181,869	50.4%	186,626	55.9%	△4,756	△2.5%	△2.7%
海外売上高	178,634	49.6%	147,005	44.1%	31,628	21.5%	0.5%

区 分	当第2四半期 (累計)	売上比	前第2四半期 (累計)	売上比	増 減	増減率	
営 業 利 益	国内化粧品事業	17,144	10.1%	13,573	7.8%	3,570	26.3%
	グローバル事業	1,955	1.0%	△6,057	△3.9%	8,013	—
	その他	925	13.0%	862	12.1%	63	7.4%
	消去又は全社	365	—	△35	—	401	—
合 計	20,391	5.7%	8,342	2.5%	12,048	144.4%	
経常利益	21,021	5.8%	8,350	2.5%	12,670	151.7%	
四半期純利益	5,377	1.5%	5,020	1.5%	356	7.1%	

※売上比はセグメント間の内部売上高を含めた売上に対する比率

## 報告セグメント別の状況

### ①国内化粧品事業

当第2四半期連結累計期間の国内化粧品事業の売上高は、前年同期比2.6%減の1,689億円となりました。消費マインドが徐々に回復傾向にあるなかプレステージ領域の強化を進め、デパートを中心に展開するグローバルブランド「SHISEIDO」と最高級ブランド「クレ・ド・ポー ボーテ」のTV宣伝を初めて実施したほか、「クレ・ド・ポー ボーテ」のコア美容液「ル・セラム」など強力な新製品を投入しました。また、売上構成比の高いドラッグストアにおいては「エリクシール」の美容乳液「デーケアレボリューション」をフックに既存品育成に注力したほか、ブランド誕生30周年を象徴する濃密美容液「エンリッチドセラム」を発売するなどブランドの強化を図りました。加えて、猛暑の影響により、日やけ止めの「アネッサ」、デオドラントブランド「AG+」、全身ケアブランド「シーブリーズ」などの季節商品も好調に推移しました。

一方で、「成長の行く手を阻む経営課題」である国内の在庫適正化と「二度と在庫を溜めない仕組み」構築に向けて、9月に出荷を抑制したことに加え、下期に店頭在庫の回収を実施し、在庫水準の適正化と売れ筋商品の品揃えの充実を進めることとしました。具体的には、店頭在庫の偏りの解消を意図した売上下位商品の回収分として40億円の営業費用を、店頭での取り扱い方針の変更に伴う生産終了品の回収分として63億円の特別損失を、それぞれ当第2四半期に引当計上いたしました。

営業利益については、売上高が前年同期を下回ったものの、コスト構造改革による費用削減や費用の繰り下がりなどにより、前年同期比26.3%増の171億円となりました。

### ②グローバル事業

当第2四半期連結累計期間のグローバル事業の売上高は、現地通貨ベースで前年同期並み、円換算後で前年同期比20.1%増の1,869億円となりました。米州ではメーキャップアーティストブランド「NARS」が好調を継続したほか、「フェラガモ」の取り扱いを開始したフレグランスが堅調に推移しました。欧州では、全体としては景気低迷の影響を受けたものの、ロシアでの売上が好調に推移したほか、「バーバリー」の取り扱いを開始したフレグランスが伸長しました。アジアでは、中国が第2四半期に店頭在庫水準を引き下げるために出荷を抑制したことなどから前年を下回りましたが、タイやベトナムでの売上は伸長しました。

営業利益は、中国においてコスト構造改革を実施したことなどから、前年同期の営業損失61億円から黒字に転換し20億円となりました。

### ③その他

当第2四半期連結累計期間のその他の売上高は、フロンティアサイエンス事業の売上増に加え、飲食業を展開する子会社「株式会社資生堂パーラー」においても売上が伸長したことから、前年同期比2.5%増の47億円となりました。

営業利益は、「株式会社資生堂パーラー」が増益となったことなどにより前年同期比7.4%増の9億円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債、及び純資産の状況

総資産は、外貨建て資産が円安の影響で増加したことを主な要因として、前期末に比べ399億円増加し7,555億円となりました。負債は、借入金の返済による減少があったものの、構造改革引当金の増加による流動負債の増加や為替影響などにより63億円増加し4,188億円に、純資産は主に為替換算調整勘定の増加により335億円増加し3,367億円となりました。自己資本比率は前期末における40.1%から、当第2四半期末は42.0%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の増加などにより422億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入があったものの海外の生産設備や国内外での売場カウンターへの設備投資などにより58億円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、前期末配当の支払いおよび長期借入金の返済による支出などにより200億円の支出となりました。

以上により、当第2四半期末の現金及び現金同等物残高は期首に対し220億円増の1,022億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期の実績および下期の国内外における見通しを踏まえ、平成25年7月31日に発表した通期の連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

なお、10月18日に開示いたしましたL'Oréal S.A.（フランス、クリシー）との当社子会社等の譲渡に関する協議の開始の影響につきましては、フランス現地の法令で求められている労働法上の手続が未了であり、また、当事会社間で交渉中であることから下記業績予想には含めておりません。今後もし業績予想の修正など開示すべき事項が生じた場合には、当社グループの連結業績に与える影響を精査し、経営影響が軽微でない場合には速やかに開示いたします。

【平成26年3月期 通期連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）】 （百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想 (A)	727,000	39,000	39,000	20,000	50.23
今回修正予想 (B)	740,000	40,000	41,000	15,000	37.66
増減額 (B-A)	13,000	1,000	2,000	△5,000	
増減率 (%)	1.8	2.6	5.1	△25.0	
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	677,727	26,045	28,406	△14,685	△36.90

【報告セグメント別売上高の見通し】 （百万円）

区 分	平成26年3月期 (見込)	平成25年3月期	増 減	増減率
国内化粧品事業	340,000	345,882	△5,882	△1.7%
グローバル事業	390,000	322,349	67,651	21.0%
その他	10,000	9,494	506	5.3%
合 計	740,000	677,727	62,273	9.2%

【地域別売上高の見通し】 （百万円）

区 分	平成26年3月期 (見込)	平成25年3月期	増 減	増減率
国内売上高	367,000	373,252	△6,252	△1.7%
海外売上高	373,000	304,475	68,525	22.5%
海外売上高比率	50.4%	44.9%		

以上の通期見通しの前提条件は次のとおりです。

年間の主な為替レートは97円/米ドル、127円/ユーロ、15.7円/中国人民元で計画を策定しています。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計基準等の改正等に伴う会計方針の変更）

第1四半期連結会計期間より、「従業員給付」（国際会計基準第19号 平成23年6月16日改訂）を一部の連結子会社において適用し、確定給付負債の純額の変動の認識方法の変更等を行っております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の連結貸借対照表は、繰延税金資産、退職給付引当金がそれぞれ215百万円、795百万円増加し、利益剰余金、退職給付に係る調整累計額及び少数株主持分がそれぞれ42百万円、440百万円及び96百万円減少しております。前第2四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であることから、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書に反映しておりません。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金、退職給付に係る調整累計額及び少数株主持分の前期首残高はそれぞれ42百万円、7百万円及び43百万円減少しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

(参考情報)

## 【海外売上高】

(百万円)

区 分	当第2四半期 (累計)	構成比	前第2四半期 (累計)	構成比	増 減	増減率	外貨増減率
米 州	55,062	15.3%	43,861	13.2%	11,200	25.5%	4.7%
欧 州	45,892	12.7%	36,848	11.0%	9,043	24.5%	2.9%
アジア・オセアニア	77,679	21.6%	66,295	19.9%	11,384	17.2%	△3.7%
海 外 計	178,634	49.6%	147,005	44.1%	31,628	21.5%	0.5%



4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	59,330	73,581
受取手形及び売掛金	118,232	110,151
有価証券	31,933	43,936
たな卸資産	84,552	90,033
繰延税金資産	24,943	27,241
その他	14,712	16,222
貸倒引当金	△1,023	△1,116
流動資産合計	332,681	360,049
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	158,731	162,928
減価償却累計額	△102,689	△106,030
建物及び構築物(純額)	56,042	56,897
機械装置及び運搬具	84,597	87,101
減価償却累計額	△73,018	△75,167
機械装置及び運搬具(純額)	11,579	11,934
工具、器具及び備品	64,078	68,888
減価償却累計額	△44,130	△48,670
工具、器具及び備品(純額)	19,948	20,217
土地	31,833	31,029
リース資産	7,517	7,434
減価償却累計額	△4,211	△4,292
リース資産(純額)	3,306	3,141
建設仮勘定	5,095	9,577
有形固定資産合計	127,805	132,798
無形固定資産		
のれん	57,127	61,550
リース資産	534	673
商標権	45,246	51,457
その他	47,784	49,041
無形固定資産合計	150,692	162,723
投資その他の資産		
投資有価証券	30,510	26,281
前払年金費用	17,155	16,210
長期前払費用	10,087	10,158
繰延税金資産	20,589	21,086
その他	26,121	26,207
貸倒引当金	△49	△56
投資その他の資産合計	104,413	99,887
固定資産合計	382,912	395,410
資産合計	715,593	755,459

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,542	47,590
短期借入金	5,975	10,058
1年内返済予定の長期借入金	31,685	7,681
リース債務	1,733	1,654
未払金	39,627	37,648
未払法人税等	9,113	9,814
返品調整引当金	10,609	12,077
賞与引当金	12,493	11,914
役員賞与引当金	268	241
危険費用引当金	386	505
構造改革引当金	361	6,341
繰延税金負債	8	8
その他	31,417	31,915
流動負債合計	187,225	177,453
固定負債		
社債	90,000	90,000
長期借入金	53,028	65,133
リース債務	2,245	2,295
退職給付引当金	44,151	44,388
債務保証損失引当金	350	350
環境対策引当金	445	444
構造改革引当金	1,396	1,396
繰延税金負債	28,931	32,462
その他	4,665	4,840
固定負債合計	225,214	241,311
負債合計	412,439	418,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,506	64,506
資本剰余金	70,258	70,258
利益剰余金	191,476	186,791
自己株式	△3,697	△3,263
株主資本合計	322,543	318,293
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,799	3,625
為替換算調整勘定	△37,832	△4,141
退職給付に係る調整累計額	△440	△418
その他の包括利益累計額合計	△35,474	△934
新株予約権	846	877
少数株主持分	15,237	18,458
純資産合計	303,153	336,695
負債純資産合計	715,593	755,459

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	333,631	360,504
売上原価	78,136	89,647
売上総利益	255,495	270,856
販売費及び一般管理費	247,152	250,465
営業利益	8,342	20,391
営業外収益		
受取利息	389	487
受取配当金	337	382
受取家賃	386	404
補助金収入	14	110
為替差益	—	447
その他	546	487
営業外収益合計	1,674	2,321
営業外費用		
支払利息	873	922
持分法による投資損失	90	73
為替差損	214	—
その他	488	694
営業外費用合計	1,666	1,691
経常利益	8,350	21,021
特別利益		
固定資産売却益	47	330
投資有価証券売却益	19	600
特別利益合計	67	930
特別損失		
減損損失	—	916
構造改革費用	—	※1 7,325
固定資産処分損	270	550
投資有価証券売却損	8	4
投資有価証券評価損	610	8
特別損失合計	889	8,806
税金等調整前四半期純利益	7,527	13,145
法人税、住民税及び事業税	4,846	8,491
法人税等調整額	△3,136	△2,277
法人税等合計	1,710	6,213
少数株主損益調整前四半期純利益	5,817	6,931
少数株主利益	796	1,554
四半期純利益	5,020	5,377

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,817	6,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△367	917
為替換算調整勘定	3,758	35,666
退職給付に係る調整額	—	26
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	36
その他の包括利益合計	3,385	36,647
四半期包括利益	9,202	43,579
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,056	39,916
少数株主に係る四半期包括利益	1,146	3,662

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,527	13,145
減価償却費	15,867	16,563
のれん償却額	2,744	2,281
減損損失	—	916
固定資産処分損益(△は益)	223	220
投資有価証券売却損益(△は益)	△11	△655
投資有価証券評価損益(△は益)	610	8
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△69	△17
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△2,747	926
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,046	△1,115
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△115	△27
危険費用引当金の増減額(△は減少)	△41	70
構造改革引当金の増減額(△は減少)	—	5,979
退職給付引当金の増減額(△は減少)	473	△202
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△14	△1
前払年金費用の増減額(△は増加)	1,891	944
受取利息及び受取配当金	△727	△870
支払利息	873	922
持分法による投資損益(△は益)	90	73
売上債権の増減額(△は増加)	7,215	17,091
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,328	2,753
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,335	△4,340
その他	△1,961	△2,705
小計	13,119	51,963
利息及び配当金の受取額	807	941
利息の支払額	△936	△922
法人税等の支払額	△6,400	△9,742
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,590	42,239

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△13,350	△18,378
定期預金の払戻による収入	15,125	15,583
有価証券の取得による支出	△230	△242
有価証券の売却による収入	230	867
投資有価証券の取得による支出	△8	△773
投資有価証券の売却による収入	41	6,377
有形固定資産の取得による支出	△9,698	△6,721
有形固定資産の売却による収入	183	497
無形固定資産の取得による支出	△3,199	△2,633
長期前払費用の取得による支出	△2,058	△2,285
その他	349	1,863
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,615	△5,846
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,537	3,325
長期借入れによる収入	1,505	22,850
長期借入金の返済による支出	△3,008	△35,230
リース債務の返済による支出	△1,133	△1,291
自己株式の取得による支出	△0	△1
自己株式の処分による収入	0	331
配当金の支払額	△9,945	△9,949
少数株主への配当金の支払額	△978	△941
その他	—	955
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,023	△19,951
現金及び現金同等物に係る換算差額	664	5,534
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△15,383	21,977
現金及び現金同等物の期首残高	82,974	80,253
現金及び現金同等物の四半期末残高	67,590	102,230

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

- ※1 構造改革費用は、筋肉質な事業構造の構築に向けて、組織、インフラ及び業務を抜本的に見直す「事業構造改革」に伴う臨時的な費用のうち、店頭在庫を溜めない仕組み構築に向けた「店頭在庫の適正化」に伴う費用や、「人材・人件費マネジメントの強化」等に伴う費用であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	国内化粧品 事業 (百万円)	グローバル 事業 (百万円)	その他 (百万円) (注)2	計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)1	四半期連結 財務諸表計上額 (百万円) (注)3
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	173,367	155,715	4,549	333,631	—	333,631
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	975	1,326	2,552	4,855	△4,855	—
計	174,343	157,042	7,101	338,486	△4,855	333,631
セグメント利益又は損失(△)	13,573	△6,057	862	8,378	△35	8,342

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△35百万円であります。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フロンティアサイエンス事業(化粧品原料、医療用医薬品、美容医療用化粧品等の製造・販売)及び飲食業等を含んでおります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	国内化粧品 事業 (百万円)	グローバル 事業 (百万円)	その他 (百万円) (注)2	計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)1	四半期連結 財務諸表計上額 (百万円) (注)3
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	168,897	186,941	4,665	360,504	—	360,504
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,135	1,398	2,430	4,964	△4,964	—
計	170,033	188,339	7,095	365,468	△4,964	360,504
セグメント利益	17,144	1,955	925	20,025	365	20,391

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去365百万円であります。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フロンティアサイエンス事業(化粧品原料、医療用医薬品、美容医療用化粧品、精製・分析機器等の製造・販売)及び飲食業等を含んでおります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

グローバル事業において、米国子会社ゾートス社の、のれんの減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失計上額は当第2四半期連結累計期間において916百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。